



明神さまを仰ぎ、久遠の文化を育んでいくまち 末広町駅

東京メトロ 銀座線

およそ1300年の永きにわたり神田明神を仰ぎ、5月になれば祭で賑わう末広町界隈。明神下ともいわれる江戸下町として、昔からいま、そして未来へと多くの人々が集い、暮らし続ける…。ここは神様とともに絶えることなく文化を育み続けるまちなのです。



明神下界隈と秋葉原へ続く、末広町駅周辺のまちの趣の変化を楽しんでみては



1 江戸総鎮守 神田明神 (神田神社)

江戸・東京を守り、人とまち、文化をつなぐ心の拠りどころ

天平2(730)年、現在の大手町・将門塚周辺に創建。承平天慶の乱後、将門公の御霊を慰めるため現在の地に奉祀されました。関ヶ原の戦いの時に徳川家康が戦勝祈願し、以降幕府は江戸鎮守として篤く崇敬し、神田祭も行うように。明治時代に正式名称を神田神社と改称。現在は神田、日本橋、秋葉原、大手町、丸の内など108町会の氏神として崇敬を集めています。また多様なイベントを通して新しい文化の発信も行うなど、古来から現代に至るまで祈りの場であり、人々と文化をつなげる場所でもあります。2030年、創建1300年を迎えます。

千代田区外神田2-16-2
https://www.kandamyoujin.or.jp/



獅子山

獅子山に乗る石獅子は、武州下野の名工・石切藤兵衛(油売藤兵衛)が生産で造った「坂東三獅子」の1つと伝えられています。親獅子が子獅子を谷底に突き落とし、這い上がってきた子を我が子とする。能の『石橋(しゃつきょう)』を造形化したものです。



銭形平次の碑

野村胡堂の名作の主人公、平次親分が作中、神田明神下台所町の長屋に恋女房お静と2人で住み明神界隈を舞台に活躍していたことにちなみ、昭和45(1970)年に日本作家クラブが発起人となり碑を建立。隣には子分・がらっ八の小さな石碑も。



井政「遠藤家旧店舗・住宅主屋」(千代田区指定有形文化財)
江戸時代より神田鎌倉町で材木商を営んできた遠藤家が、関東大震災後の昭和2(1927)年に建てた店舗併用住宅。銘木や良材をふんだんに使い、江戸の職人技を駆使した伝統的な建造技術で、2009年に千代田区の有形文化財に指定され現在の場所に移築されました。



明神男坂

天保の頃、神田の町火消「い」「よ」「は」「萬」の四組が、神田明神へ献納。眺めが良いことから、毎年1月と7月の26日に観月(夜待ち)が行われました。また当時の江戸湾を航行した船の灯台の役割も果たしていたとか。



甘酒(温)+ミニこづ餅705円(冷は755円)。米と麹、水のみで作る甘酒はアルコールを含まないので安心。自家製の麹で作る芝罘納豆、江戸味噌、久方味噌(なめ味噌)は江戸から続く名物です。

2 天野屋

千代田区外神田2-18-15
03-3251-7911
喫茶 10:00~16:00 (L.O.15:30)
販売 10:00~17:00
火(祝日は営業)、海の日、8/10~17
http://www.amanoya.jp/



江戸庶民が愛した甘酒は心と身体にやさしい味

神田明神大鳥居そばで弘化3(1846)年に創業。その当初から店の地下6mの天然の土室(むろ)で造る麹をもとに、丹念に精製・熟成して作る『明神甘酒』は、自然のまろやかな甘味と滋味あふれる江戸庶民の愛した味。夏は冷、冬は温で心と身体をほっと癒やす一杯です。
女将 天野 史子 さん



子供の頃から親しんだ「定番」から期間限定&地域限定フレーバーやコラボ商品、アウトレット品が並ぶ店内。チョコ以外にも、豊富に揃った「チロルチョコグッズ」も人気です。

4 Shop チロルチョコ

千代田区外神田4-5-4 1F
11:00~19:00
無休 ※お盆(8月)、年末年始は除く
Twitter @Shop_tirolochoco

子供の頃から慣れ親しんだあのチョコの専門店です

60年以上も愛され続ける「チロルチョコ」の専門店として2018年に設立。期間限定フレーバーや地域限定商品、また各種の味を日替わりで安くまとめ売りするアウトレット商品が人気です。進化するチロルチョコの最前線は、訪れるお客様の笑顔をつくるお店です。



マキタのミートソース(平日ランチは1,000円)。ミニサラダ、ドリンク、大盛り各+100円) 手作りのピッツァ・マルゲリータ1,300円他、夜は肉料理など一品料理やリゾットも手頃なお値段で!

3 Pasta Bar MAKITA

千代田区外神田2-10-6
050-5485-2044
11:30~14:30 (L.O.14:00)
17:30~22:00 (L.O.21:00)
月、第1・3日
https://pastabarmakita.gorp.jp/



街の人々が常連さん。誠心誠意のイタリアン

自身の名を冠した看板メニュー「マキタのミートソース」は、丸2日かけ煮込んだ深い味わい。「街の人が普段使いできる店を」と、素材を選び丁寧に誠意を込めて作る料理を楽しみに、平日は会社勤めの方、休日は家族連れやお年寄りも通う、わが街のイタリアンです。
オーナーシェフ 牧田 学 さん



キャラクターはもちろん、「大人ガチャ」をはじめ可愛らしさに癒やされる動物系、本物志向派も満足するリアリティを追求した完成度の高い造形商品…、思わず心が奪われるアイテムがいっぱい。

5 秋葉原 ガチャポン会館

千代田区外神田3-15-5
月~土 11:00~20:00
日 11:00~19:00
無休
Twitter @akibagacha

ガチャポンの聖地で発見と驚きと感動を

ガチャポン専門店の元祖として秋葉原に誕生して22年。約500台もの自販機に、懐かしい旧作から毎月約150タイトル入荷する最新作まで並び、見ているだけで時間が経つのを忘れるほど。様々な世代の人々が、そして最近では海外の人も訪れる、まさに「聖地」なのです。



誌面で紹介したお店やスポットにターリーターキーの2人がおじゃまします!

あらぶんちよ散歩 [末広町駅] 4月3日(月)~9日(日)
地デジ10ch 15:00~、19:00
地デジ102ch 23:00~
地デジ11ch 11:00~、14:00~、17:00~
YouTube 「あらぶんちよ! チャンネル」でも公開中!

あらぶんちよ散歩 誌面バックナンバーはこちら▶

※価格はすべて税込です。※データは取材時のものです。内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。※掲載店舗は通常マスク着用で営業していますが、撮影のため特別に外していただいています。

注目の人 神田明神 権禰宜 高島 瑞暉 さん



人と街、共に新しい文化を育む場所へ

学生の時に私が思っていた神田明神のイメージは、アニメとコラボしたり挑戦的なことをしているな、というものでした。でも奉職して知ったのですが、神社と芸能、流行は昔から交流していたんですね。江戸の頃は神田祭と歌舞伎、昭和ならテレビの銭形平次、平成ではアニメやアイドルと。それは「神社は今を生きる人々のためにある場所」だから。アニメとのコラボも近くには聖地・秋葉原があり、そこに訪れる方が神社に来るきっかけになればという思いからです。神田明神には「やる前に断るな、やってみて考える」という気風があり、当初は抵抗があった街の人も今では楽

しみにしてくれています。神田明神は、この「今を生きる人のために、神社はどうあるべきか」を第一義に考えます。情報化時代なら「IT情報安全守護」のお守りだということ。古いものを守るだけではなく新しい事をどんどん取り入れる、それが伝統を守ることにつながるんです。今進行中の「創建1300年プロジェクト」のコンセプトもそこにあります。街と人々の象徴として、現在、未来を共に生きるために新しい文化を育んでいく。第1弾として造った文化交流館はその発信地。今、様々な活動を考えたいです。ぜひ、ご参加ください。



神田明神と氏子たちが一体となる一大イベント!

令和五年 神田祭 5/11~17

- 今年はお祭り! 神幸祭、神輿宮入も執り行われる予定です。
- 11日(木)19時 風船神輿遷座祭
- 12日(金)夕刻 氏子町会神輿神霊入れ
- 13日(土)終日 神幸祭 (神田、日本橋、大手町・丸の内、秋葉原巡行)
- 14日(日)終日 神輿宮入
- 16日(火) 表千家家元奉仕献茶式
- 16日(火) 明神能・幽玄の花 (金剛流新能)
- 17日(水)14時 例大祭